

安達謙藏 あんだけんざう 政治家。元治元年十月二十三日肥後國生れ、昭和二十二年八月一日歿（八十四）。號漢城、漢城學人。濟々巖卒。波鮮として『朝鮮時報』、『漢城日報』を創設。明治二十八年閏妃殺害事件に連坐。のち歸郷して佐々友房の帷幕に参加、國權黨を結成した。二十五年衆議院議員（當選十四回）。大同俱樂部、憲法同志會、憲政會を経て、昭和二年と憲民政黨に参加、七年國民同盟を組織して總裁となる。この間述信箱、内相歴任。

著書に、『故子齋延澤第一翁追憶講海録』（他八名合著・鈴木誠法編輯）、昭和七年四月二十八日協調會）、『青年女子の讀物小まご愛國者』外十數編（他二名合著・高信峽水編輯、昭和八年七月十五日衆大社）、『北進圖南』（昭和十五年十一月八日春潮社）、『十年間の八聖殿』（昭和十八年一月五日旬刊）等。

